

事務事業名		環境技術開発センター運営事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	14	終了		
H27担当課等名	工業課	H27係等名	工業振興係		H26係等名	工業振興係									
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり												
目的	対象(誰・何を)	起業、研究開発に取り組む意欲のある者。飯田市環境技術開発センター入居企業。入居企業の研究開発担当者。										指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	新しい研究開発の技術、技能を身につける。入居企業同士が交流し、技術を高め合う。企業の担っている技術をさらに高める。										・入居企業数		4	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業) 飯田下伊那(億円)										・入居企業の研究者・技術者数		19	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	・新規創業者数			1	1	1	2							
	成果指標	・新製品、新事業数			3	3	3	3							
	定性目標														
事業概要	環境技術開発センター施設の管理、運営を行うとともに、環境技術開発センター施設を活用し、起業や研究開発を支援する支援担当者を中心に大学、研究機関、南信州・飯田産業センターや工業技術センター等の連携を図り、入居者や地域の企業との研究開発、共同研究を支援する。														
	平成15年度からスタート 敷地面積;11,302,99㎡/延床862.54㎡ 入居可能部屋数;6室 利用料;無料(共益費別途負担あり) 利用期間;5年以内														
事業内容					名称					活動指標					
26年度事業内容	1 環境技術開発センターの運営管理					1 入居者相談支援回数					1 5回				
	2 新規入居者の募集・PR活動の実施					2 支援・イベント開催回数					2 2回				
	3 インキュベート委員会の開催と相談・支援の実施					3 委員会開催数					3 2回				
	4 起業家、入居企業による成果発表会の実施					4 成果発表会開催数					4 1件				
	5 工業技術センターを核とした技術、解析、分析等の有機的支援					5 工業技術センターによる支援数					5 2回				
	6 国内のインキュベーションセンター(支援機関及び大学所有)に入居しているベンチャー企業・研究開発型企業に対して誘致活動					6 誘致活動件数					6 2件				
	7 センター周辺駐車場の整備(700㎡分)														
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		10,858	5,328	4,931	5,197	(そ)環境技術開発センター入居企業共益負担金 1,560千円 (そ)桐林環境産業公園駐車場使用料 1,567千円									
国庫支出金															
県支出金															
起債															
その他		1,725	1,800	3,127	3,039										
一般財源		9,133	3,528	1,804	2,158										
人件費計(千円)②		2,005		715											
正規職員所要時間		200		200											
臨時職員所要時間		1,200													
総事業費①+②		12,863	5,328	5,646	5,197										
事業内容・目標達成状況の振り返り	現在、空室については施設情報の発信や企業立地係との連携により誘致活動を実施している。本年度は当技術開発センターの支援により1社が市内へ新規創業した。また、新製品・新事業数については、例年とおりの数値を満たすことができた。														
改革改善の考え方	①問題点	地域内外からの入居を促進するための効果的な情報発信及び誘致活動が必要である。また、入居企業に対する新規創業に向けた継続的な支援が必要である。													
	②改革提案	入居の情報発信及び誘致活動の強化に加えて、インキュベーションマネージャーによる定期的な情報交換や新たな拠点への誘導等により入居企業の自立化の支援を行う。													